

■目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策26 成長・発達に応じたきめ細かな教育の推進

現状と課題

- 特別な支援を必要とする発達障害等の児童・生徒が増加しており、情緒障害通級指導学級では入級待機者が生じています。特別支援教育推進体制の整備を行いつつ、すべての学校における特別支援教育の推進と在籍校における支援体制の確立が必要となっています。
- いじめや不登校など、配慮を要する子どもへの対応がさらに求められています。

計画最終年度(33年度)の目標

- すべての学校において、特別な支援を必要とする子どもたちにきめ細やかで適切な教育や支援が行われ、子どもたちが持てる能力を伸ばしながら、健やかに学校生活を送っています。
- いじめや不登校の子どもが減少し、子どもたちが明るく元気に学校に通っています。
- 少人数の学級運営ときめ細かな学習支援により、子どもたちにこれからの時代を生きるための力が着実に身に付いています。

施策指標の推移(実績)と目標

指標名	これまでの実績			目標値 ※1	目標値 ※2	指標の説明・計算式
	H24	H25	H26(目標)	H29	H33	
情緒障害学級の入級待機児童数(小学校)	80人	71人	0人	0人	0人	年度末時点の入級待機児童数
不登校児童・生徒の出現率	小学校 0.32%	小学校 0.48%	小学校 0.2%	小学校 0.2%	小学校 0%	児童・生徒数に占める長期欠席児童・生徒の割合
	中学校 2.08%	中学校 3.03%	中学校 1.3%	中学校 1.3%	中学校 0%	

※1…『実行計画』最終年度の目標値 ※2…『総合計画』最終年度の目標値

目標を実現するための主な取組

○特別支援教育の充実 **重点**

- ・障害のある子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指すため、個別の教育的ニーズに応じた教育の場を整備します。また、個別指導を行う特別支援教室を小学校に設置します。

○教育相談体制の整備

- ・子どもの情緒や発達の悩み、不登校など、教育に関する様々な課題について相談を行うとともに、各校に派遣しているスクールカウンセラーや学校との連携により、子どもと保護者を支援します。

○いじめ・不登校対策の推進 **重点**

- ・不登校となっている子どもたち一人ひとりの状況に応じてきめ細かな支援ができるよう、学びの場を整えていきます。また、いじめに関する電話相談や、インターネットによるトラブルや被害から子どもたちを守る取組を進めます。

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策26 成長・発達に応じたきめ細かな教育の推進

3 いじめ・不登校対策の推進<重点>

施設再編

不登校となっている中学生向けの適応指導教室を増設するとともに、一人ひとりの状況に応じてきめ細かな支援ができるよう、学びの場を整えていきます。また、いじめに関する電話相談の実施や生徒自らのいじめ解決に向けた取組への支援、さらに、子どもたちをインターネットによるトラブルや被害から守るために、メール相談やトラブルの経験・解決策を共有できる掲示板、トラブル回避方法の情報提供などを行います。

	26年度末(見込)	27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容	適応指導教室 小学生 1所 中学生 2所	適応指導教室 新規 中学生 1所			適応指導教室 新規 中学生 1所 (累計 小学生 1所 中学生 3所)
	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用
	すぎなみ いじめ電話レスキューの実施	すぎなみ いじめ電話レスキューの実施	すぎなみ いじめ電話レスキューの実施	すぎなみ いじめ電話レスキューの実施	すぎなみ いじめ電話レスキューの実施
	(仮称)すぎなみ ネットでトラブル解決支援システムの運用	(仮称)すぎなみ ネットでトラブル解決支援システムの運用	(仮称)すぎなみ ネットでトラブル解決支援システムの運用	(仮称)すぎなみ ネットでトラブル解決支援システムの運用	(仮称)すぎなみ ネットでトラブル解決支援システムの運用
経費(百万円)		59	1	1	61

4 アレルギー対策の強化

アレルギー疾患のある子どもたちの学校生活を安全・安心なものとするため、アレルギー疾患への理解の促進とアレルギー発症の未然防止に努めます。あわせて、区内医療機関と連携し、小中学校のほか、保育園、子供園、学童クラブにおける緊急時の体制強化を図ります。

	26年度末(見込)	27年度	28年度	29年度	3か年計
取組内容		区立学校におけるアレルギー対応の手引き改訂			区立学校におけるアレルギー対応の手引き改訂
	講演会・研修会 3回 食物アレルギー対応食器、トレイ導入 小中学校全校	講演会・研修会 3回 アレルギー対応ホットラインの開設・運用	講演会・研修会 3回 アレルギー対応ホットラインの運用	講演会・研修会 3回 アレルギー対応ホットラインの運用	講演会・研修会 9回 アレルギー対応ホットラインの開設・運用
経費(百万円)		1	1	1	3